

著書	執筆者	出版年	論文名	書籍名	出版元
	足立行子・椿弘次・信達郎編著	2002	『ビジネスと異文化のアクティブコミュニケーション』	同文館出版	
	池田伸子	2001	『ビジネス日本語教育の研究』	東京堂出版	
	井出祥子	2001	『わきまえの語用論』	大修館書店	
	伊藤守	2002	『コーチング・マネジメント』組織のハイパフォーマンスをつくる	ディスカバー トウエンティワン	
	氏家洋子	1996	『言語文化学の視点「言わない」社会と言葉の力』	おうふう	
	馬越恵美子	1996	『“カイヤ”の中の外国人』	日本貿易振興会	
	海野素央	2004	『異文化コラボレーターの仕事 合併はなぜうまくいかないのか』	中央経済社	
	蒲谷宏・川口義一・坂本恵	1998	『敬語表現』	大修館書店	
	神尾昭雄	2001	『純・情報のなわ張り理論』	大修館書店	
	木下康仁	2003	『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践』	弘文堂	
	クルマス、 フロリアン	1993	『ことばの経済学』	大修館書店	
	現代日本語研究会編	1997	『女性のことば・職場編』	ひつじ書房	
	現代日本語研究会編	2002	『男性のことば・職場編』	ひつじ書房	
	近藤彩	2007	『日本人と外国人のビジネス・コミュニケーションに関する実証研究』	ひつじ書房	
	近藤彩	2005	「商談における受け入れ戦略と適用ルールに関する事例研究」	『共生時代を生きる日本語教育—言語学博士上野田鶴子先生古希記念論集』、77-398.	お茶の水女子大学日本語文化学研究会編集委員会編
	近藤彩	2005	「ビジネスにおける異文化間コミュニケーション—日本語での会議は非効率か—」	『異文化とコミュニケーション』井出祥子・平賀正子編著、40-60.	ひつじ書房
	佐藤慎司・熊谷由理 編	2010	『アセスメントと日本語教育 新しい評価の理論と実践』	くろしお出版	
	鈴木義幸	2000	『コーチングが人を活かす』	ディスカバー トウエンティワン	
	鈴木由香・八代京子・吉田友子	2009	「阿吽の呼吸」が終焉する時代—平成不況後に企業が求める異文化間コミュニケーション能力	異文化間教育29号	異文化間教育学会 アカデミア出版会
	第一勧業銀行	1986	『在日外国人のみた日本のビジネス』		
	高見澤孟	1994	『ビジネス日本語の教え方』	株式会社アルク	
	多文化共働プログラム	2006	『多文化協働プログラム「外国人従業員受け入れに関する調査報告書」～外国人研修生・技能実習生受け入れに関する意識調査～』	多文化共生センター・大阪	
	地球産業文化研究所	1993	『ビジネス・コミュニケーションの阻害要因と日本語需要実態』		
	チンプラサートスック、パチャリー	2005	「タイ人と日本人との間のビジネス・コミュニケーションの問題に関する研究」	『共生時代を生きる日本語教育—言語学博士上野田鶴子先生古希記念論集』、349-376.	お茶の水女子大学日本語文化学研究会編集委員会編
	直塚玲子	1980	『欧米人が沈黙するとき—異文化間のコミュニケーション』	大修館書店	
	西田ひろ子(編)	2003	『日本企業で働く日系ブラジル人と日本人の間の異文化間コミュニケーション摩擦』	創元社	
	西田ひろ子(編)	2008	『グローバル社会における異文化間コミュニケーション』	風間書房	
	日本貿易振興会	1984	『日本人と働く法』	学生社	
	日本貿易振興会ビジネスコミュニケーション研究委員会	1995	『ビジネスコミュニケーションに関するアンケート(中間)』		
	ネウストブニー、 J.V	1995	『新しい日本語教育のために』	大修館書店	
	文化庁文化語部国語課	1994	『外国人ビジネス関係者のための日本語教育Q&A』	大蔵省印刷局	
	ヘレン・スベンサーニオーティ編著	2004	『異文化理解の語用論：理論と実践』	研究社	
	牧野成一・鎌田修・山内博之・斎藤真理子他	2001	『ACTFL-OP1入門—日本語学習者の「話す力」を客観的に測る』	アルク	
	ロナルド・J・ニューエル	2004	『学びの情熱を呼び覚ますプロジェクト・ベース学習』	学事出版	